

私たちの施設は、「福祉サービス第三者評価」を活用して、利用者サービス向上のために常に努力しています。

「福祉サービス第三者評価」を踏まえたサービス改善計画・実施状況

事業所名		夢の樹みどり			第三者評価受審年度	令和5年度
項目	評価結果に基づく現状分析 (5年度)	改善計画 (5年度末時点)	実施状況 (5年度末時点)	実施状況 (5年度末時点)		
新入職員育成の仕組みを整えることで職員が定着することが期待されます	採用して間もない職員に対して、その日毎に育成担当者を設ける仕組みになっており、経験のある一人の職員が継続的に新人職員を育成する仕組みにはなっていない。	経験のある一人の職員が継続的に新人職員を育成する仕組みを設け、きめ細かな指導を行えるようにする。	3月より、担当制により経験のある一人の職員が継続的に新人職員を育成する仕組みを設け、継続して指導を行っている。			
利用者の身体機能の見極めができる視点を強化する取り組みが期待されます	利用者の羞恥心や残存機能を意識し、日頃から支援を行っているが、活動のスケジュールや安全確保の観点から、職員の支援が先回りしてしまう場面もある。	利用者一人ひとりの自主性や残存機能を尊重した支援ができるように、日々の現場や会議等の場面で職員間で意見を出し合い、利用者個々の支援方法について見直しを行う。	3月より、職員間で意見を出し合いながら利用者一人ひとりの自主性や残存機能を尊重した支援について検討を始めた。			
経営層と職員間のコミュニケーションの活性化が図られる取り組みが期待されます	令和5年11月から12月にかけて施設長と職員全員の個別面談を実施したほか、必要に応じて主任やグループリーダーと職員の個別面談も実施しているが、双方ともに面談の実施は不定期である。	施設長、主任、グループリーダーと職員全員の個別面談を定期的(半年に1回)に実施し、経営層と職員間のコミュニケーションの活性化を図る。	施設長、主任、グループリーダーと職員全員の個別面談の日程調整を行っており、4月から実施する予定である。			

※この様式は、「〇〇市障害者日中活動系サービス推進事業補助金交付要綱」等の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています。

※第三者評価の結果は、施設において公表しています。